

つうしん SPS通信



だい 13 号 令和5年1月27日 発行

おおさかふりつちゅうおうちようかくしえんがっこう
大阪府立中央聴覚支援学校



じしんひなんくんれん じっし
地震避難訓練を実施しました!!



1月18日地震避難訓練を行いました。今回は、今後30年以内に発生するとされている南海トラフ地震を想定し

て行いました。今回のポイントは2つです。

- ①緊急地震速報が発信され、揺れが到達するまでの15秒間で、大きな揺れに備える。
- ②3分間続く大きな揺れに耐える練習をする。

揺れが到達するまでの15秒で、どんな備えができるか子どもたちと一緒に考えました。『安全に身を守る場所を

探す。』『部屋のドアを開ける』『カーテンを閉め、窓ガラスが割れても散らないようにする。』15秒は一見、短いよう

ですが、できることはたくさんあることに気がついたようです。

また、南海トラフ地震では震度7クラスの揺れが5分程度続くとされています。揺れが続く時間の長さに耐えるた

め、今回は少し時間を短くして3分間耐える練習をしました。

そして、震度7の揺れがどのくらいのものなのかイメージをするため、中央消防署にご協力いただき、起震車による

揺れの体験を行いました。幼稚部から高等部までの代表の子どもたちや教職員、PTAの方々にも参加していただ

きました。大きく左右に揺れたり、下から突き上げられたりするような揺れが続き、何かに捕まっていないと耐えられな

いほどの揺れでした。また、揺れが収まったかと思いきや再び大きな揺れが継続するのも印象的でした。

今回の訓練でも、中央消防署と連携させていただいたことで、子どもたちがこれまでに積み上げてきた防災に対す

るスキルをさらに深めることができました。今後も、防災への取り組みを続けていきたいと思っています。

ぼうさいきゅうしょく じっし
防災給食を実施しました!!

ひなんくんれん よくじつ ぼうさいがくしゅう いっかん ぼうさいきゅうしょく じっし こんかい ごもく かまい しょう
避難訓練の翌日、防災学習の一環として防災給食を実施しました。今回は、五目アルファ化米を使用しました。

みず い ま にんぶん ほん つく し おどろ
水を入れて待つだけで50人分のご飯が作れることを知り、子どもたちは驚いていました。

しょく かんてん ぼうさい かんが
食の観点からも、防災について考えることができました。

アルファ化米が食べられるようになるまで

はこ にんぶん
1箱で50人分



なか
中をあけると・・・?



みず い
水を8リットル入れて

じかん ま
1時間待つと・・・



かんせい
完成

よく、まぜよう!



がつ にち ぼうさいきゅうしょく
【1月19日の防災給食】

